

6月定例議会

一般質問

<質問順に掲載>

竹内 滋泰

●国道23号蒲郡バイパスについて

平成24年度開通予定の上記案件に関して

- ①西部区間に於ける工事進捗状況及び用地買収等の諸問題
- ②東部区間の現状及び蒲郡・豊川市が抱える課題点
- ③西部区間開通後の交通量変動に伴う蒲郡市としての対応方法
- ④三谷・大塚地区の迂回路としての豊岡大塚線の事業経過ならびに事業促進策

●津波被害を主とした蒲郡市の防災対策について

- ①現在のハザードマップの刷新要請(蒲郡市の一時避難場所等を付加)
- ②津波被害に対する蒲郡市の対策及び民間企業等への協力要請
- ③想定外の津波発生時に対応する避難経路をハザードマップ上に情報追加

広中 昇平

●消防団員の待遇改善について

消防団員の定員確保は毎年苦勞をしているのが実情です。今後は、家族に対するのサービスも重要であると要望いたしました。予算の問題もあり、早急にはむずかしいとのことでしたが、前向きに検討していただけたとのことでした。

●自主防災倉庫について

大震災対策器具格納庫、また地域防災器具倉庫を含め、今後は地域とも連携して消耗品の補充を計画的に進めていくとのことでした。

●ポートレース場の活用について

施設改善後の状況もふまえて、新しいポートファン開拓のためにも市が窓口となって大規模イベントを開催してもらうように要望いたしました。

稲吉 郭哲

●東海・東南海地震について

気象庁が発表し内閣総理大臣が「警戒宣言」を発令します。ただし、突然に地震が発生することもあります。告知は市内106ヶ所の同報無線・防災行政ラジオ・携帯メール等により発信されます。津波警報においては、防災訓練を通して市民に対し周知徹底をはかる様強く要望しました。

●広報がまごおりについて

戸籍移動事項(出生児・おくやみ)の掲載を、地域の絆をきづくための一助として強く要望しました。しかし、市においては賛否両論のある中、掲載をしないとの回答である。今後も引き続き要望していきます。

●国道247号中央バイパスについて

用地取得率は93%であるが100%をめざし交渉中である。全線開通は形原・西蒲町においては市民病院につなぐ「命の道」ともいえる。一日も早く全線開通するように全力で今後も強く要望していきます。

鎌田 篤司

●金原市長の次期市長選に向けての決意について

金原市長が勇退へ

次期市長選には、出馬をしません。期数を重ねてくると、色々しながらみで決断が鈍る事がある。以前から、3期で辞めるつもりでいた。医師会との訴訟問題や人口減・市民病院の医師不足など、やり残した事はあるが、後は体力・気力・決断力のある人に託したい。

●蒲郡市政クラブが緊急提言をした、市が行う「東日本大震災」への支援策について

大場 康議

●第四次蒲郡市総合計画について

土地利用構想についての考え方/市内五ヶ所の企業用地候補地の内、1ヶ所は研究開発系ゾーン、残り四ヶ所は工業系ゾーンとして今後10年間での実現に努める。市街化区域の変更、拡充についての考え方/中央バイパスの完成を期に、道路沿線の都市的サービス業の進出と宅地開発の促進の為、検討して行く。

●都市計画道五井線について

進捗状況についてはどうか/今年8月に収用法に基づき、県に対して事業認定申請を行い、12月に事業認定を受ける予定。24年7月に収用委員会に申請し、25年7月に裁判、用地取得予定。道路建設と同時に上下水道の埋設を進める。又、道路安全確保と周辺環境に配慮した整備を行う。

伴 かつふみ

●震災による津波対策について

地震発生からおよそ60分で津波が到着するとされている。この60分で全ての扉門、防潮扉が閉められるか?

●選挙の投票区について

投票率が低下した、選管に責任はないのか。投票所の人員配置は適正か。

●名鉄西尾蒲郡線について

大村知事になって、余り良い感触で無いと聞いた現状はどうか? 満額の8300万円県補助金が付いたと市長より、答弁がありました。

よびた 孝博

●震災による企業活動、市民生活への影響について

市内の企業、事業所にも大きな影響があり、資金融資としてマル経融資等への金利補助、中小企業雇用安定助成金制度の教育訓練の実施を求めたところ前向きに検討していくとの事。また休日保育への対応も柔軟に対処していく。

●「6次産業化」への取り組みについて

農水産物の産地ブランド化を推奨していく中で、「6次産業化」への一層の取り組みをしていくことや地産地消推進計画の実施を提案した。

トピックス

■蒲郡市政クラブ主催・新任議員研修会の開催

H23.5月26日・30日・31日の3日間、新入議員8名と蒲郡市政クラブ、議会事務局、各部署担当者間で研修・意見発表会を開きました。

■「地方議会議員年金制度」がH23.6月1日より廃止となりました。

「地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律」が成立し、6月1日から施行されました。

■ustreamによるライブ中継(6月定例会での試験運用)が始まる。

■蒲郡市エネルギー対策本部が設置されました。

■「新蒲郡市斎場整備計画」が蒲郡市と幸田町の連携の中で建設、管理、運営を共同事業として進める方針であります。

■南部保育園がまごおり児童館起工式(6月28日)



がまごおり児童館地鎮祭



誠にありがとうございました

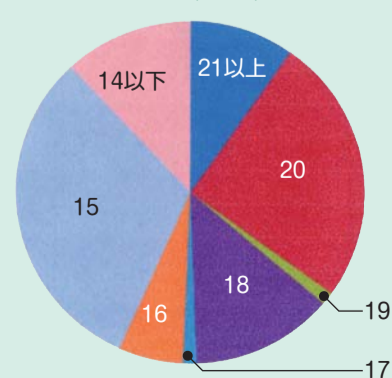
県議会議員 飛田 常年

4月の県議選におきましては、蒲郡市政クラブの皆様を始め、多くの市民の方々より御支援を頂き当選をさせて頂きました。今後は市と県のパイプ役としての職責をはたし、より豊かな蒲郡のまちづくりの為に働かせていただく所存であります。今後共よろしく御支援を賜りますようお願い申し上げます。

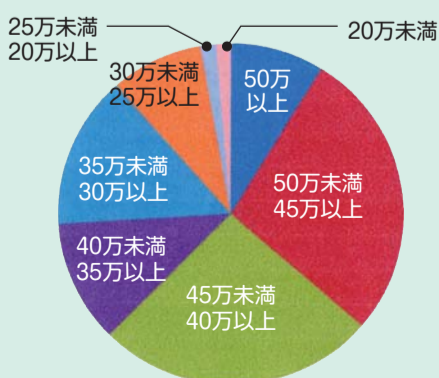
[アンケート結果]

蒲郡市政クラブだより(2011年1月15日号)に掲載いたしました、アンケート結果を集計いたしました。市内各地から総数97の回答を頂きました。集計結果を掲載していきます。

議員定数についてどのようにお考えになりますか? 改選時(20名)



議員報酬についてはどのようにお考えになりますか?



議会と行政についてのご意見

- 議員の人をお願いしても、予算がないと言われてなかなか市民の言う事は聞いてもらえない気がします。子育て支援、バラマキ金は反対です。給食費とか修学旅行代とかは支援しても、月々の子育て支援金は反対です。
- 議員1人1人が、今年はぜひこれを1つ実現したいというものを、外部へもっと発信してほしい。
- 各議員の活動について自己地域の事に重点をおかず、市内全体の事に活動して、市民全体に目を向けることで議会改革に積極的に取り組むべきである。
- 市役所の限られた人材を有効に活用するように、総合型ではなく専門型の人事を構築する。
- インターネット中継はなかなか見られない環境ですが、協議した内容などをもっと頻繁に広告(折込チラシ)などで発行して頂けるといいと思う。
- 今後も様々な情報を発信して頂くことを希望します。etc.

(次号へ続く)